

# 財政のあらまし

令和2年6月

本書は、予算・決算など市の財政事情を市民のみなさんにお伝えする資料です。毎年6月と12月の年2回作成しています。今回の令和2年6月号では、令和2年度当初予算の概要と、令和元年度下半期（令和元年10月1日から令和2年3月31日まで）の財政運営の状況についてご説明いたします。

# 目次

## I. 令和2年度当初予算のあらまし

1	令和2年度予算について	1
2	予算の内容	2
①	予算の概要	2

## II. 令和元年度下半期における財政運営の状況について

1	補正予算のあらまし	3
2	市民負担の状況	3
3	一時借入金の状況	3
4	予算の執行状況	4
5	企業会計の業務状況	5
6	市有財産の状況	6
7	市債の状況	7

# I 令和2年度当初予算のあらまし

1

## 令和2年度予算について

阪神・淡路大震災から25年が経過しました。新しいステージに立つ神戸は、これまで先人が築き上げてきた歴史や営みを受け継ぎながら、変革の扉の先にある輝かしい未来に向かって、確かな歩みを進めてまいります。



子育て・教育、高齢者・障害者施策など、すべての世代を対象とした社会保障政策は厚みを増し、安心・安全、環境、経済、芸術・スポーツなどの分野でも新たな政策展開を図ってきました。神戸港は港の勢いを回復させ、神戸空港は関西3空港一体運営と規制緩和の取り組みが進み、大阪湾岸道路西伸部は順調に工事が進行しています。これまで以上に、スピード感をもって、時代の変化に対応し、神戸を「さらなる高み」へ押し上げてまいります。そして、未来の世代が過度な負担を背負い込むことがないように、テクノロジーの進化を大胆に取り入れながら、業務改革など行財政改革を進め、持続可能な大都市経営を行ってまいります。

ひさもと きぞう

神戸市長 久元喜造

### 6つの柱

- 1 街と地域を創る
- 2 神戸経済を伸ばす
- 3 陸・海・空の拠点を創る
- 4 輝く子どもたちの未来を創る
- 5 健康・安全を守る
- 6 市政改革を進める

## 2

# 予算の内容

## 1 予算の概要

### ■ 予算編成の基本的な考え方

- 子育てしたい街、学びたい街、働きたい街、住みたい街として選ばれるよう人口減少時代におけるまちづくりとして、バランスのとれた街全体の発展をめざし、神戸を見違えるような街にリノベーションする。
- 子育て・教育施策を重点的に強化し、暮らしの質を重視した人にやさしいまちづくりに取り組む。
- 経済基盤となるインフラ整備を加速し、安定した経済成長と市民所得の向上、持続可能な社会基盤の構築をめざす。

### ■ 令和2年度当初予算額

	令和2年度	令和元年度	対前年比
一般会計	8,387億 900万円	8,116億4,000万円	270億6,900万円
特別会計	6,708億1,900万円	6,801億9,100万円	△93億7,200万円
企業会計	3,496億6,700万円	3,080億8,700万円	415億8,000万円
総額	1兆 8,591億9,500万円	1兆 7,999億1,800万円	592億7,700万円

※ 各会計の詳細については、神戸市のホームページで、「当初予算の概要」をご覧ください。

### 用語の解説

- ◆一般会計 福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計（財布）です。主に市税や地方交付税などによってまかなわれます。
- ◆特別会計 特定の事業を特定の歳入によって実施するための会計の総称です。一般会計から切り離して整理することで、個々の事業の収支や運営実績が明確になります。国民健康保険事業費や介護保険事業費、市営住宅事業費など、本市では12会計あります。
- ◆企業会計 地方公共団体が直接、社会公共の利益を目的として経営する地方公営企業の会計の総称で、主に利用者みなさんが支払う料金収入で事業を行います。交通事業や上下水道事業など、本市では7会計あります。

## Ⅱ 令和元年度下半期における 財政運営の状況について

### 1 補正予算のあらまし

令和元年度上半期（平成31年4月～令和元年9月）と下半期（令和元年10月～令和2年3月）における補正予算額、および現計予算額は次のとおりとなっています。

（単位：百万円）

	当初予算額	補正予算額 （上半期）	補正予算額 （下半期）	現計予算額
一般会計	811,640	14,653	27,245	853,538
特別会計	680,191	—	4,161	684,352
企業会計	308,087	538	1,529	310,153
全会計	1,799,918	15,191	32,935	1,848,043

### 2 市民負担の状況

一般会計歳入予算 8,116億4,000万円のうち市民のみなさんの直接負担となる市税の令和元年度当初予算額は、3,086億2182万円で歳入予算全体の38.0%になります。

これを令和2年3月1日現在の世帯数（722,270世帯）及び人口（1,520,582人）で割りますと、

1世帯あたり 427,294円

1人あたり 202,963円 となります。

### 3 一時借入金の状況

令和2年3月末における一時借入金の現在高は、次のとおりとなっています。

（単位：億円）

会計	借入限度額	現在高	
一般会計	900	-	
企業会計	下水道事業会計	10	
	港湾事業会計	200	
	新都市整備事業会計	200	
	自動車事業会計	27	11
	高速鉄道事業会計	188	-
	水道事業会計	30	-
	工業用水道事業会計	7	-
合計	1,562	11	

（注）特別会計の一時借入金はありません。

## 4

## 予算の執行状況

令和2年3月末現在における一般会計、特別会計の執行状況は次のとおりとなっています。

## ■ 歳入

(単位：百万円、%)

区分	予算現在額	収入額			収入率
		上半期	下半期	合計	
一般会計	891,224	397,119	353,345	750,464	84.2
特別会計	689,353	173,921	258,311	432,232	62.7
市場事業費	3,972	1,658	910	2,568	64.7
食肉センター事業費	1,055	96	109	205	19.4
国民健康保険事業費	159,991	48,826	86,912	135,738	84.8
農業共済事業費	318	112	41	153	48.1
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	217	239	71	310	142.9
駐車場事業費	963	396	454	850	88.3
農業集落排水事業費	1,579	214	87	301	19.1
市街地再開発事業費	9,225	1,828	596	2,424	26.3
市営住宅事業費	51,116	8,439	22,361	30,800	60.3
介護保険事業費	145,352	55,651	61,668	117,319	80.7
後期高齢者医療事業費	39,513	8,102	10,032	18,134	45.9
公債費	276,052	48,360	75,070	123,430	44.7

## ■ 歳出

(単位：百万円、%)

区分	予算現在額	執行額			執行率
		上半期	下半期	合計	
一般会計	891,224	270,728	298,698	569,426	63.9
特別会計	689,353	292,018	303,438	595,456	86.4
市場事業費	3,972	863	2,010	2,873	72.3
食肉センター事業費	1,055	212	311	523	49.6
国民健康保険事業費	159,991	49,176	87,853	137,029	85.6
農業共済事業費	318	97	107	204	64.2
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	217	61	66	127	58.5
駐車場事業費	963	329	178	507	52.6
農業集落排水事業費	1,579	283	123	406	25.7
市街地再開発事業費	9,225	690	579	1,269	13.8
市営住宅事業費	51,116	5,985	13,906	19,891	38.9
介護保険事業費	145,352	57,143	70,216	127,359	87.6
後期高齢者医療事業費	39,513	15,930	19,564	35,494	89.8
公債費	276,052	161,249	108,525	269,774	97.7

(注) 3月末日の執行状況であるため、決算額とは異なります。



## 6

## 市有財産の状況

財産とは、公有財産、物品、債券および基金です。このうち、公有財産とは、市が所有している財産で、土地、建物、船舶、航空機、地上権、有価証券、出資による権利などの財産をいいます。

令和2年3月31日現在、地方公営企業法適用事業（下水道・港湾・新都市整備・自動車・高速鉄道・水道・工業用水道の7事業）を除いた財産の現在高は次のとおりです。

令和2年3月31日現在

種 類	数 量				備 考	
	単位	行政財産	普通財産	計		
公有財産	土地	㎡	41,322,194	24,896,432	66,218,626	
	建物	延㎡	6,741,827	442,069	7,183,896	
	立木	㎡		143,769	143,769	
	船舶	隻	1	—	1	消防艇
	浮棧橋	基	1	—	1	
	航空機	機	2	—	2	ヘリコプター
	地上権	㎡	1,820	1,420	3,240	
	地役権	㎡	15,374	—	15,374	
	温泉権	件	10	1	11	銀泉、しあわせの村温泉等
	無体財産権	件	—	51	51	神戸パンダ、神戸ウイングスタジアム商標権等
	有価証券	千円			13,353,650	関西国際空港土地保有株式会社株券等
	出資による権利	千円			249,804,817	日本高速道路保有・債務返済機構出資金等
物品	点			7,586		
債権	千円			86,737,473		
基金	千円			388,635,620		

(注)数量は速報値のため、決算とは異なる場合があります。

※繰替運用の残高

(千円)

基 金 名	運用残高	内 容
神戸市公債基金	3,894,211	一般会計財源対策資金等
神戸市市民福祉振興等基金	1,385,000	有料老人ホーム「サン舞子マンション」建設資金等
神戸市営住宅敷金等積立基金	873,297	鹿の子台南住宅取得資金等
合 計	6,152,508	

## 用語の解説

- ◆行政財産 庁舎、事務所、学校、公園など、公用または公共用に利用される財産
- ◆普通財産 行政財産以外のすべての公有財産



市民生活や産業振興などに必要な都市施設の整備や、安全で安心なまちづくりを進めるために市債を発行しています。事業の優先順位を明確化し、施策の重点化を行うことによって、将来世代に大きな負担を残さないよう、市債残高の管理に努めています。

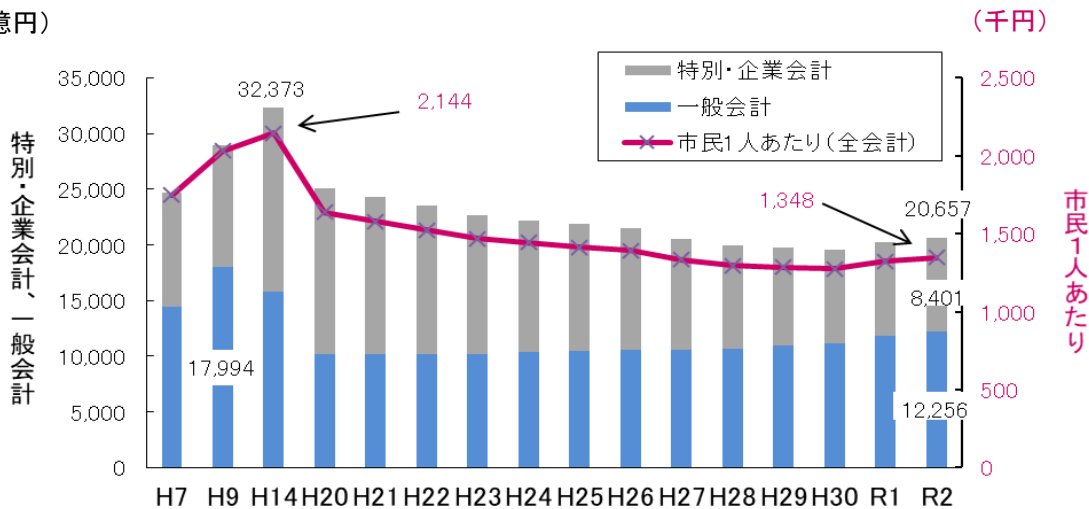
### ■ 市債残高見込み（令和2年度当初予算）

（単位：億円）

会 計	令和元年度末 現在高見込額	令和2年度中増減見込額		令和2年度末 現在高見込額
		発行予定額	元金償還額	
一 般 会 計	11,860	396	1,022	12,256
特 別 会 計	1,807	3	180	1,810
市営住宅事業	964	27	102	991
その他	843	△ 24	78	819
企 業 会 計	6,614	△ 23	540	6,591
下水道事業	1,511	△ 14	98	1,497
港湾事業	2,184	24	130	2,208
新都市整備事業	998	△ 209	-	789
自動車事業	32	20	23	52
高速鉄道事業	1,585	170	283	1,755
水道事業	257	△ 18	-	239
工業用水道事業	47	4	6	51
借 換 債	-	-	589	-
合 計	20,281	376	2,331	20,657

### ■ 市債残高の推移

（億円）



※市民1人あたり…各年度3月末現在の住民基本台帳登録人口により計算。  
（「R2予算」のみ、R1年12月末現在のもの）

### 用語の解説

- ◆借換債 市債の償還年限は、充当した施設の耐用年数等に合わせて設定しますが、それより短い年数で借入れをすることがあるため、残りの償還期間を考慮して償還を均等化するために発行する地方債をいいます。